

学校だより

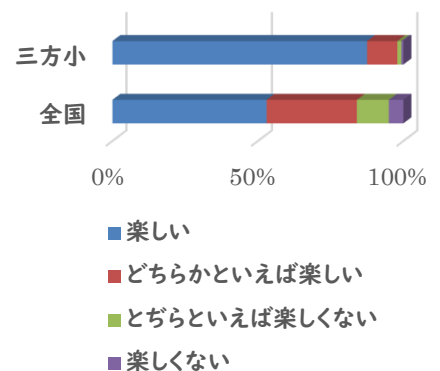
令和4年度
三方小学校だより第2号
4.28 (発行者千田)

今日も校庭から、子どもたちの元気な歓声が聞こえてきます。休み時間になると、友だちと夢中になって校庭を駆け回る子ども達の姿をよく見かけます。裏面のスクールプランで示したように、「子どもが通いたくなる学校、保護者や地域が通わせたい学校」をつかっていくことが学校の一番大切な使命だと感じています。右下のグラフは先週に実施した心のアンケートの結果の一部です。この結果を見ても、子どもたちは充実した学校生活をおくっていることが分かります。欠席はとて少なく、新型コロナウイルス感染防止のために制限された学校生活の中でも、自分なりに喜びを見つけ楽しく学校生活を送っているように思います。全国的には、不登校やいじめの件数が増加している中、本当に素晴らしいことだと思います。スクールプランに示したように、「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業がよくわかる」「授業に主体的に取り組んでいる」の4項目のアンケートを毎月実施し、学校全体の実態を把握するとともに、否定的な回答をした児童については全職員で共通理解し、個別に支援していく体制をとっていきたいと考えています。今後も子どもの小さな変化を見逃さず、全職員で子ども達を育てるという意識をもって教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。



4/25 校長室より撮影

学校は楽しいですか



児童の作品(6年生)

本年度、三方小と明倫小が統合して新しい三方小が誕生しました。6年生が「一週間を過ごして」感じたことを作文にしました。子どもたちの「心の声」がとてよく伝わってきます。

「ドキドキ。」心のはれつしそうなくらい緊張しました。「勉強が分かるかな」と少し不安もありました。でも教室に入ったとき、みんなが「おはよう」といってくれたおかげで、少し不安がやわらぎました。授業では、みんなで考えたり、たくさんの意見が出て、とて楽しかったです。そして、休み時間には、みんなでせいっぱい遊びました。とてにぎやかで楽しかったです。明倫小の屋上からの景色もきれいだったけど、三方小の屋上からの景色は、三方湖が見えてびっくりするくらいきれいでした。明倫小がなくなったのはさびしいけど、三方小に来て、いい仲間やいい先生にめぐまれて、本当に幸せだと思ひました。これから、このすばらしい学校で、6年生として、さらに明るく、笑顔いっぱい学校にしたいと思ひました。

6年生になって一週間がたち、私が一番心に残っていることは、明倫小の人とたくさん話したこと、自己紹介ゲームをしたことです。はじめ、明倫小の人と友達になれるか、とて不安でした。でも、新しい教室で、新しい友達と新しい学年で授業などをいっしょにする楽しさや、おもしろさを知って、教室でみんなと過ごす時間が自分の中でとて大切な時間となりました。そして、休み時間には、明倫小の人ともたくさん話したり、遊んだりすることができました。とて楽しいです。また一年生と遊んだり、話したりもできてとて楽しかったです。登校している時は、一年生に気を配ってゆっくり歩いたり、話しかけたりすることができました。一年間はあつという間なので一日一日を大切にしていきたいと思ひます。

5月

6日(金)心電図検査
10日(火)交通安全教室
11日(水)学校訪問コンサート
12日(木)歯科検診、尿検査

25日(水)体育大会予行練習
28日(土)体育大会
30日(月)振替

